

学校と地域をむすぶ

かけはし

大津市立葛川小中学校
地域コーディネーターだより

NO. 3

2017. 8. 8

地域のためにできること

いつもお世話になっている地域のために自分たちのできることは何だろう？その一つの取り組みとして、年に2回小中学校全校で地域清掃を行っています。夏の地域清掃は、7月18日の「太鼓廻し」のお祭りに関わり、地主神社と明王院の掃除を行いました。



地主神社は拝殿のふき掃除とそのまわりの落ち葉掃きや草取りを、明王院は本堂と回廊の水拭きとそのまわりのはき掃除をしました。中学生が太鼓廻しの練習に参加し、お祭り当日には、太鼓を廻す人それを見守る人、にぎやかなお祭りを楽しむ人など、それぞれが伝統あるお祭りに参加し楽しみましたが、そのお祭りのために少しでもきれ

いになったらいいなあという気持ちで掃除をしました。ふき掃除をしながら、その木目に歴史を感じたり、掃いたところがすっきりきれいになったのを見てうれしくなったりしました。実質30分ほどの清掃時間でしたが、その時間を無駄にすることなく、一生懸命手を動かしました。「えっ？もう終わり？」「もっとやりたい」という声もありましたが、限られた時間できれいになったのを見ると「やってよかったな」という達成感を味わうことができました。



「おはよう」で一日のスタート

7月1日、青少年学区民会議の方々とともに、合同あいさつ運動が行われました。朝、登校してきた子どもたちに「おはよう」と声をかけていただきました。スクールバスを降りるとたくさんの方々に出迎えられて、ちょっとびっくり、何となくはずかしいという顔をしながらも「おはようございます」とあいさつをする子どもたちでした。スクールバスを降りる時には、まだテンション低めですが、その後教室に入る頃には元気が出てきます。元気な「おはよう」のあいさつで、気持ちよく一日をスタートさせることができるといいなあと思います。



自転車交通安全教室

夏休みに入る直前に、小学校では交通安全教室が行われました。今年で5年目になる「滋賀と京都のおまわりさんによる自転車交通安全教室」です。大津北警察署、京都下賀茂警察署、そしていつも地域でお世話になっている葛川と久多の駐在所の方々に来ていただき、自転車の安全な乗り方について勉強しました。シュミレーターを使って、ゲーム感覚で自転車の安全な走行を体験したり、実際に運動場に作られたコースを自転車で走ってみたりしました。大きなトラックの横を通る時、信号を渡る時、「とまれ」の標識のあるところで止まる時、など、いろいろな場面での安全な走行の仕方を教えてい



いただいた通りにやってみました。そして、自転車の安全点検の仕方も教えていただき、ふだんあまりできていなかったところにも関心がいきました。ふだん、自転車に乗る機会が少なかったり、大通りで走行したりすることがあまりない中、自転車に乗る時だけでなく、歩く時やバスの乗り降りをする時など、交通安全を心がける意識が高まりました。

坂下に出かけたよ



1. 2年生は「坂下まちたんけん」に出かけました。坂下に住むお友だちの案内により、いくつものおすすめスポットに行きました。急な階段をのぼると3つのお社のある神社。草むらではバッタを発見！川を見下ろしながら歩いていると道の真ん中にへび。いつも散歩の時に



声かけをしてくれる近所のおばちゃんも訪ねました。川にも入り、おたまじゃくしをたくさん見つけたり、きれいな石を拾ったりしました。



同じく坂下で、6年生は「壱」を訪れ、オーナーシェフの上西彰さんにインタビューをしてお話を聞かせていただきました。自分の将来を考えるきっかけにする「夢プロジェクト」の学習の一つです。上西さんから、仕事をはじめのきっかけ、仕事をしていてうれしいことやつらいことなどのお話を聞かせていただきました。お話の端々に、こだわりを持って仕事をされていることや、やりかけたことはあきらめない気持ちを強く持たれていることが心にとまりました。

第1回 オープンスクール

葛川小中学校は平成30年度スタートの天津市初の「小規模特認校」の指定をいただきました。

これに関わり、7月24日に第1回目のオープンスクールが行われました。体験に来られた3人のお友だちを交えて、小中学校の各学年では小規模校ならではの授業が行われたり、後半は、小中学校全校で川遊びに出かけたりしました。中村橋の少し下手の河原に行き、川の中に入りました。ジャバジャバと泳いだり、水中眼鏡で水の中をのぞいたり、水でっぼうで水をかけあったり、わずかの時間でしたが川遊びを楽しみました。



5・6年生の授業では、久多の梶村恵次さんに木のおはし作りを教えてくださいました。水に強いと言われる「クリ」の木を使ってのおはし作りです。木を置いてカンナで削っていくと先が細くなりおはしの形に近づくという梶村さんお手製の秘密兵器道具。カンナの使い方や削り方もていねいに教えてくださいました。カンナを動かしていくと、どんどん木が削られていきます。くるくると木を回



しながら偏りがないように削っていきます。だんだんおはしらしくなってきました。2本削らないとおはしにならないということで、少し時間を延長し、梶村さんに仕上げをしていただきながらおはしが完成しました。あの四角の角材から先が細くなった六角形のおはしができ上がり感動です。木の香りに心がなごみ、この木のおはしを早く使ってみたくくなりました。



夏の学校林

夏の学校林活動は、本番日と予備日ともに雨模様

のあやしいお天気のため中止となってしまいました。今回の活動では、春から夏にかけての木の生長ぶりを観察し、下草刈りの作業を行う予定でした。毎年、事前に機械を使って背の高い草をきれいに刈っておいてくださるので、子どもたちはヘキサチューブをかぶせた木のまわりの草を鎌で刈っていました。今回は、本当ならばどんな背の高い草を刈らなければならないのかを体験するために、一部背の高い草を残しておいてもらいました。しかし、その草を実際に見たり、自分たちの手でそのすごい草を刈ることができないことになってしまいました。春に行った時と比べると、どの木もずいぶん大きくなっていました。班ごとに観察していた5本の木も4mを超えるものもありました。ヘキサチューブで大事に守られながら鹿に食べられることなく少しずつ大きくなってきていたあのヒノキも、なんと、ヘキサチューブの上から葉っぱを出していました。すごい生長ぶりです。残しておいてもらった草刈りの作業は、先日職員の手で行いました。山や木の様子も写真におさめ、子どもたちにはこの今の山の様子を写真で伝えたいと思っています。